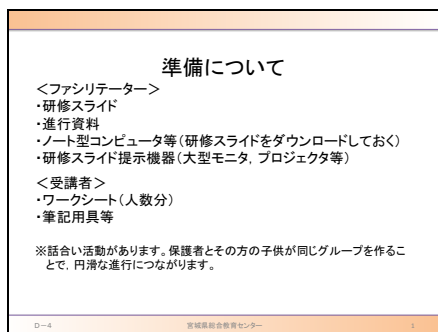


## D-4 進行資料

1

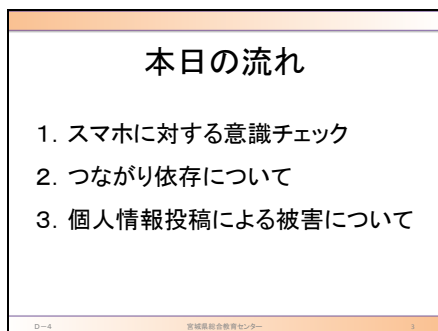


2



本日の研修は子供と考えるスマホ、SNSの利用です。スマートフォンやSNSを中心に研修して参ります。

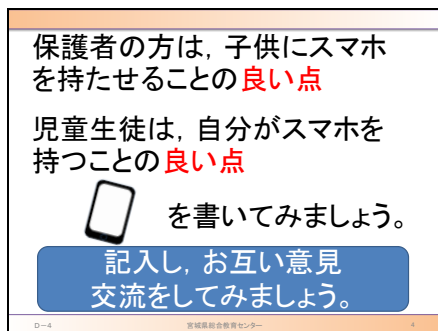
3



本日は大きくこの3点についてみなさんと一緒に考えていきたいと思えます。

ワークシートに記入していただいたり、子供と意見を交流していただいたりする場面がありますのでよろしくお願いします。

4



まず始めに意識調査をしてみましょう。お手元のワークシートの1番の所です。

保護者の方は子供にスマホを持たせることの良い点。

児童生徒のみなさんは、自分がスマホを持つことの良い点を記入してみましょう。

記入が終わったら、お互い意見交流をしてみましょう。保護者が来ていない人は友達同士で意見交流しましょう。


【2分程度時間を取る】

ありがとうございました。

5

保護者の方は、子供にスマホを持たせることの**心配な点**

児童生徒は、自分がスマホを持つことの**心配な点**

 を書いてみましょう。

記入し、お互い意見交流をしてみましょう。

今回は2番。保護者の方は子供にスマホを持たせることの心配な点。

児童生徒のみなさんは、自分がスマホを持つことの心配な点を記入してみましょう。


記入が終わったら、これについてもお互い意見交流をしてみましょう。保護者が来ていない人は友達同士で意見交流しましょう。

【2分程度時間を取る】

ありがとうございました。保護者の皆さん、お互いの考えを理解することができたでしょうか？

6

良い点 < > 心配な点



さて、今の2つの活動を通して、良い点と心配な点どちらの方が上回りそうでしょうか？

良い点の方が上回りそうだという方

【挙手を求める】

ありがとうございました。

心配な点の方が上回りそうだという方


【挙手を求める】


ありがとうございました。

みんなが持っているから持たせる、持たせて欲しいではなく、それぞれの家庭で事情が違いますから、家庭で話し合うことが大切です。

さて、ここからはスマホを買ってもらった女の子の話を見ましょう。

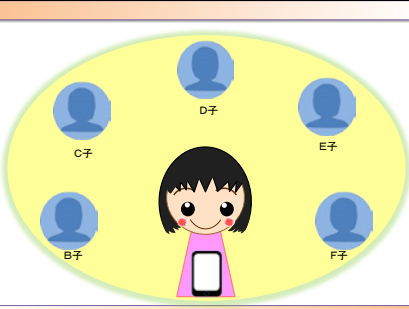
7

 やっとスマホを買ってもらった♡ ちょーうれしい！



A子は卒業のお祝いに念願のスマホを買ってもらいました。とっても喜んでいます。

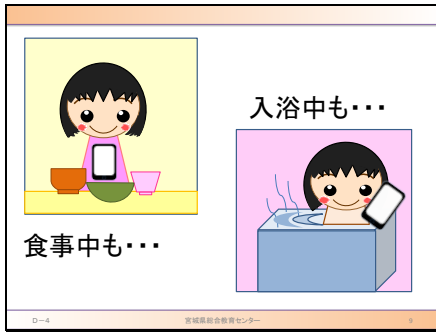
8



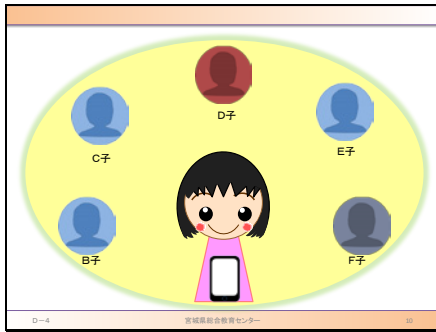
入学すると、新しくできた友達とラインのグループを作りました。

はじめは明日の準備物の確認程度でしたが、友達のこと、先生のこと、部活のこと、男子のことなど話題はどんどん広がっていきました。気になる内容ばかりでラインをやめられません。

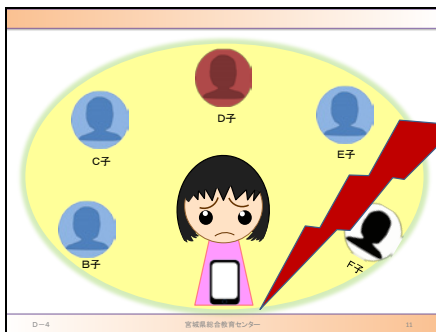
9 次第に、食事中や入浴中もスマホを手放せなくなりました。



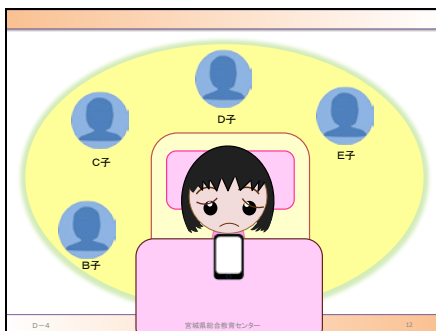
10 そんなある日、グループトークにF子が全然返事をよこさなくなりました。A子はどうしたんだろうと心配していましたが、すぐに返事がほしいD子がイライラし始めました。D子とF子は最近、ぶつかることが多く、とうとうD子がF子抜きグループを作ろうと言い出しました。



11 リーダー的存在のD子には誰も逆らうことができません。とうとうF子はグループから外されてしまいました。この出来事はA子にとってもショッキングな出来事でした。F子はもしかすると何かスマホを使えない理由があったのでは、と思うA子でしたが、自分もF子ようになってしまったら・・・と考えると、「スマホを手放すなんてできない。」



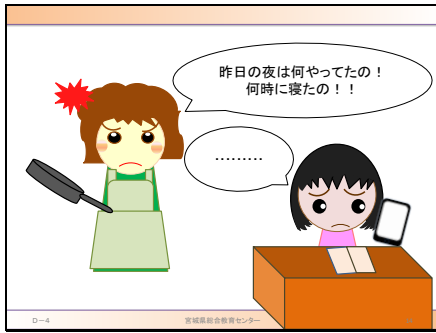
12 グループトークは夜中まで続くようになりました。誰かが寝てしまうと、起こすためにスタンプを連打(スタ連)したり、グループ通話で話したりすることも増えました。



13 翌朝、A子は寝坊してしまいました。連夜のラインですっかり寝不足です。宿題も終わっていないようです。



14



母親もイライラしているようです。A子は朝ご飯も食べず、学校に出掛けていきました。

15

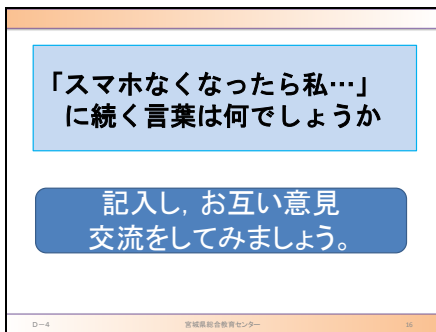


帰宅してからもスマホばかり。ついに母親の怒りも爆発しました。スマホを取り上げようとしています。

【少し間をとってから】

A子の「スマホなくなったら、私・・・」のあとに

16



どんな言葉が続くと思いますか。ワークシートの3番に書いてみてください。

記入が終わったら、お互い意見交流をしてみましょう。保護者が来ていない人は友達同士で意見交流しましょう。

【1分程度時間を取る】

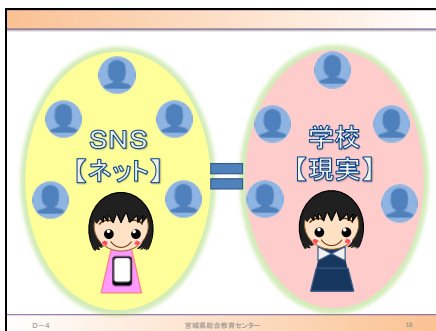
ありがとうございました。

17



「そんなことしたら私・・・友達いなくなっちゃう」予想されるのは、こんなせりふでしょうか。

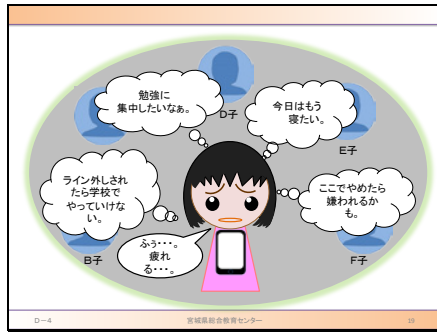
18



多くの場合、子供たちの人間関係はネット上と現実の世界もつながっています。家にいても子供たちは気を遣いながらつながりを保とうとしています。

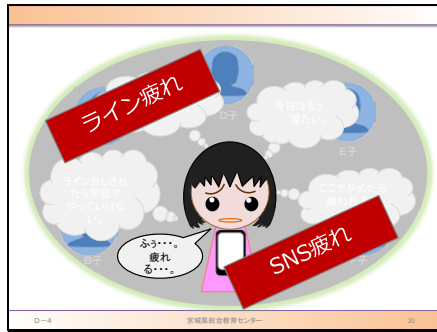
ずっと休み時間の教室にいる状態、と考えれば親の世代の方には分かりやすいでしょうか。

19



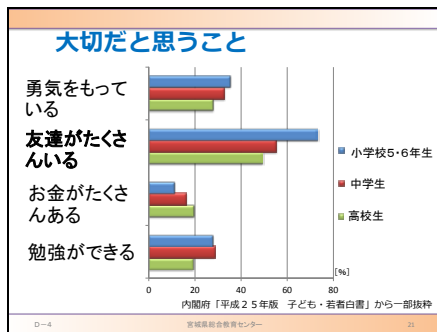
友達から仲間はずれにされるのではないかと、という不安を抱え、やめたいけどやめられない状況でSNSを使用し続け、子供は疲れ切っているのかもしれない。

20



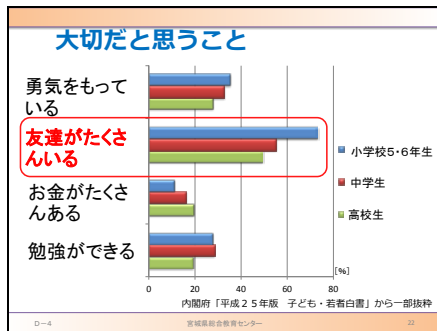
このような状態は、「ライン疲れ」, 「SNS疲れ」と呼ばれています。  
あんなに欲しがっていたスマホをお祝いにと購入してもらい、月々の料金を払ってもらって悩んだり疲れたり...  
こんな子供が増えているそうです。

21



こちらのグラフは、子供たちが「大切に思うことは何か」を聞いたものです。

22



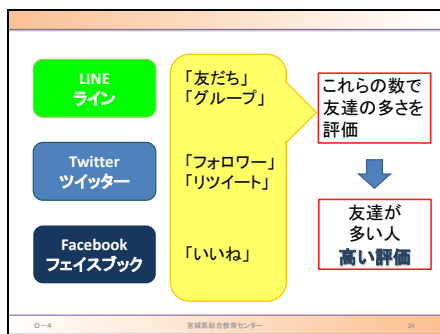
どの校種でも「友達がたくさんいること」が1番高くなっていることが分かります。

23



この傾向はSNSにも現れており、ラインでは「友だち」の数、ツイッターでは「フォロワー」の数、フェイスブックでは「いいね」の数等の多さが大切だと考えているようです。

24

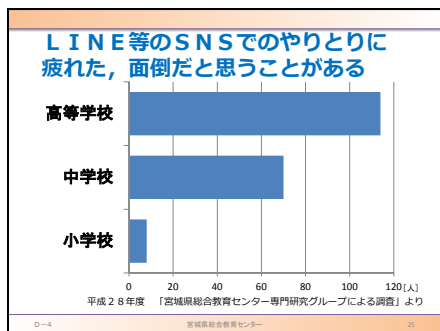


ですから、顔や名前も知らないSNS上だけの友達も多く、その友達の数の多さを競っているのです。

SNS上の友達が多ければ多いほど、返事を返したり、「いいね」をつけなければいけません。

つまり、スマホが手放せなくなってしまいます。その結果、

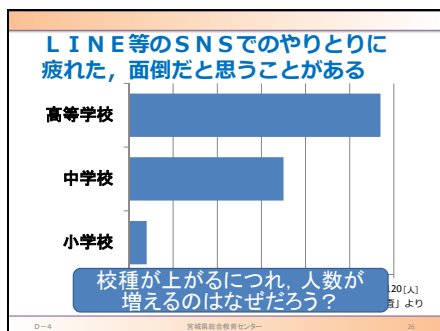
25



このグラフをご覧ください。このグラフは県内の児童生徒からとったアンケート結果です。

校種が上がるにつれて、やりとりに疲れを感じたり、面倒だと感じながら使っている人数が増えています。

26



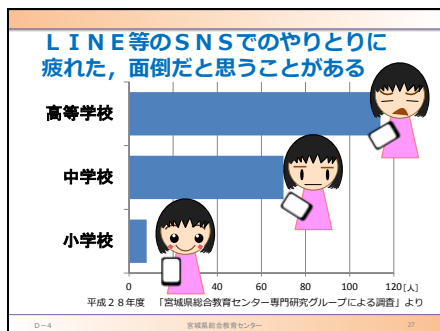
さて、校種が上がるにつれ、人数が増えるのはなぜだと思いますか？

お互い意見交流をしてみましょう。保護者が来ていない人は友達同士で意見交流しましょう。

【1分程度時間を取る】

ありがとうございました。

27



校種が上がるにつれてその人数が増えていることから、最初は憧れに近い気持ちで始めたSNSであったのに、

子供たちは使えば使うほど面倒に思っている、という現状にあることを認識しておくといいですね。

28



さて、次はトラブルに巻き込まれてしまった例を見てみましょう。

Aさんはスマホデビューしたばかり。自分の訪れた場所や食事内容、自分を撮影した画像をツイッターに投稿するのに夢中です。

投稿を見た人たちから寄せられるコメントを毎日楽しみにしていました。

29

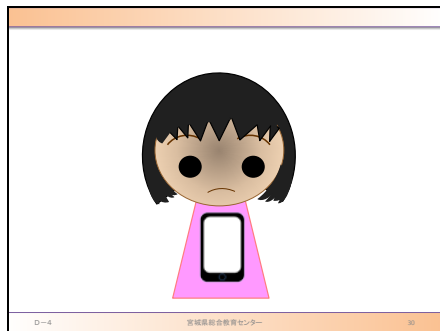


ある時から、

【クリック：アニメーションの表示】

Aさんは誰かに付けられている気配を感じるようになりました。

30



そしてある日、ツイッターにはこんなメッセージが届きました。

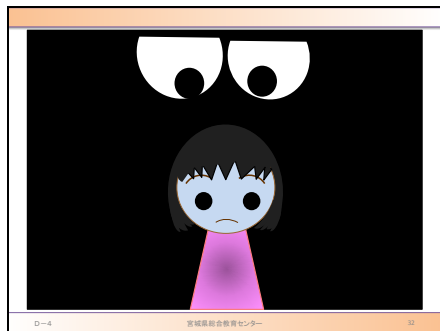
31



そこには、「毎日見てるよ。君の住んでいる場所は分かっているんだ。」

「今度会いに行くからね・・・」というメッセージと、いつ撮影されたか分からない、Aさんの写真が投稿されていました。

32

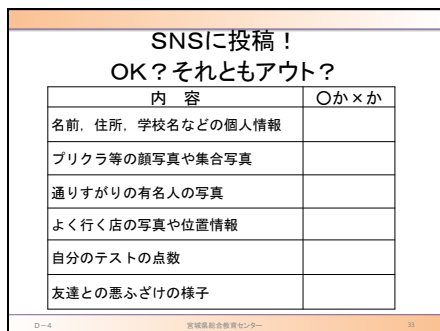


Aさんは怖くて外出することができなくなり、引っ越しを余儀なくされました。

個人情報や自撮りの写真を公開し、トラブルに巻き込まれてしまったケースはニュースでよく耳にします。

中には取り返しの付かない被害にあってしまった人もいます。そんなの公開しなければいいのに、と皆さん思うでしょうが、ここで考えてみましょう。

33

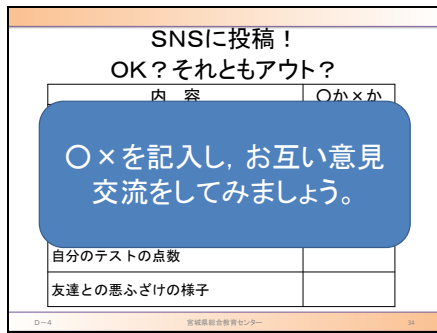


次の内容をSNSに投稿しても問題ないかどうか。

意識調査をしてみましょう。お手元のワークシートに同じ物があります。

保護者の方は、自分の子供が投稿したらという視点でお考え下さい。

34



さて、携帯、スマホを持たせている人も持っていない人も、○×を記入し、お互いと意見交流をしてみましょう。保護者が来ていない人は友達同士で意見交流しましょう。

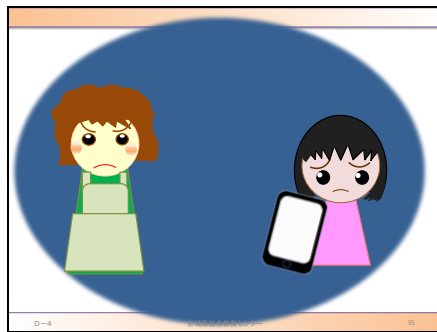
【2分程度時間を取る】

ありがとうございました。いかがでしたか。やはり人それぞれ、年代差や個人差が生じるということが分かります。

【公開範囲について話が出たら】

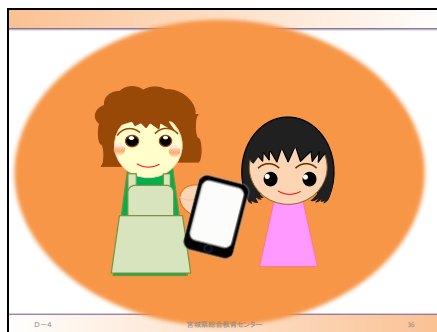
また、公開範囲について話が出ましたね。お子さんのSNSの設定によっては、公開した情報により、家族全体に影響が出る可能性がありますね。

35



親の世代の思春期にスマホやSNSはありませんでした。ですから、子供の世代とギャップがあるのは当然です。

36



だからこそ、保護者と子供が使い方やモラルについて一緒に話し合い、学び続けていくことが大切です。

37



最初から補助輪無し自転車を買い与え、さあ自分一人で乗りなさいという家庭はないと思います。

また、自転車に一人前に乗れるようになって、「車に気を付けてね。」などと日常的に声を掛けているかと思います。スマホは持ち運びが簡単で、世界中とつながることのできるパソコンです。

大変便利ですが、使い方によっては一生を棒に振ったり、命を落とすきっかけになってしまうことさえあります。



38

家庭でのルールづくり

子供の成長過程を考え、時間、場所、相手等のルールを決めましょう。

0-4 宮城県総合教育センター 38

スマホも自転車同様、子供の成長過程を考え、家庭で時間、場所、相手等のルールを決めましょう。

子供を信用し、大切にしているからこそルールは必要です。今日の研修が家庭での話合いのきっかけづくりになればと思います。

以上でお話を終わります。ありがとうございました。

39

今日の研修を振り返ってみましょう。

- ・学んだこと
- ・感想 など

0-4 宮城県総合教育センター 39

【時間に余裕があれば、この用いて振り返りをしてみましょう。】

では最後に、この研修を受けて学んだことや感想、今後実際に活用できそうなことなど、3～4人の方に発表していただきます。

【3～4人指名し、確認する】

いろいろな意見が出ましたね。

今日の研修が家庭での話合いのきっかけづくりになればと思います。

以上でお話を終わります。ありがとうございました。